

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	321
事業名	広田梅林事業運営補助金		予算科目
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課	会計
電話	0799 - 44 -3005		款
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	一般会計・1
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		民生費・3款
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_	項
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち(生きがい)	社会福祉費・1項
	施策目標	子ども達や市民の遊び・憩いの場を充実する	目
老人福祉費・3目	該当する事業について「 」を選択		
	施策的事業	業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		南あわじ市老人クラブ連合会緑支部会員	対象人数(人)
			50
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 広田梅林の維持管理	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 剪定、収穫、消毒、除草等を取り組むことで広田梅林の維持管理を行っている。 また、梅の実の収穫時期は、地元小学校と連携して世代交流を兼ねて子供と一緒に収穫体験を行っている。 さらに梅の開花時期である3月には観光スポットとして島外の観光客が多数訪れているため、案内を兼ねて観光ガイドとしてPR活動を行っている。		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 広田地区は古くから梅の名所として知られており、梅林の復元を目指して昭和41年に旧緑町老人クラブ連合会が中心となって現敷地5,000平方メートルに南光梅・鶯宿梅あわせて300本を植樹し、以後、老人クラブが長年、管理運営している。		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(老人クラブ連合会緑支部)
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~ 平成
		年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 昭和41年から梅林の復元を目指して管理運営を推し進めてきた成果として、合併後も引き続き老人クラブ緑支部が維持管理を担い、後継者に引き継ぎながら生きがい活動としている。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	実績決算額				指標単位
						円
	指標説明 (指標算出方法等)	事業を達成するための実績内容と決算額				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	90	90	90	90	
	実績値	90	90			
	達成度 (%)	100.0	100.0	-	-	
目標値設定の考え方	前年度実績決算額					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	実績入込客数				指標単位
						人
	指標説明 (指標算出方法等)	開園期間の入場者数				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	
	実績値	9,000	9,390			
	達成度 (%)	100.0	104.3	-	-	
目標値設定の考え方	前年度実績入場者数					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	直接事業費 (千円)	90	90	90	90	
	広田梅林運営補助金	90	90	90	90	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	90	90	90	90	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9	
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	90	90	90	90		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	1.8	1.8	1.8	1.8		
受益者人数(50)1人当り経費(千円)	1.8	1.8	1.8	1.8		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	100.0	100.0	-	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市観光スポットとして維持管理に努め、観光案内を行っている。					自己評価 (5点評価)
						4
有効性	成果指標目標達成度	%	100.0	104.3	-	-
	成果向上率	%	0.0	4.3	-	-
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 梅の実の収穫時期に、子供たちと一緒に収穫を行うことで世代交流を図り、また、年間を通して環境美化に努めるなど高齢者の生きがい活動・健康増進・社会奉仕などへの成果となっている。					自己評価 (5点評価)
						4
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	1.0	1.0	-	-
	効率性増減率	%	0.0	0.0	-	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 高齢者の社会奉仕活動であり、観光地の維持管理費として妥当である。					自己評価 (5点評価)
						3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市観光スポットとして知名度も高まってきている中、維持管理の必要性は不可欠である。また、当梅林は、新梅林と違い市有施設ではないので、管理運営に対する補助金を交付することは、現状としては必要である。					自己評価 (5点評価)
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 南あわじ市の観光名所の一つとして、大切な財産であり、地域全体で取り組み、またそれを受け継いでいく子供たちと共に大事に育て、守っている。隣接地に新広田梅林もあり、管理運営は一緒に行っているようであるため、管理体制は整備する必要があると思われる。					<div data-bbox="821 1541 1388 2121" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>梅林の管理運営は順調で、地域に根付いた事業であり、新梅林との相乗効果で早春の観光名所としての役割を十分に果たしている。また、当梅林は、新梅林と違い市有施設ではないので、管理運営に対する補助金を交付することは、現状としては必要である。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>南あわじ市の梅の名所として多くの観光客や市民に親しまれているため、事業を中止することで観光地の衰退が懸念される。</p>	